

日雇い派遣労働者の実態に関する調査 結果報告書

〔調査の概要〕

1 調査の目的

派遣労働者のうち、1日単位の雇用契約で働く者（以下「日雇派遣労働者」という。）等、1ヶ月未満の雇用契約で働く者（以下「短期派遣労働者」という。）について、派遣元事業主を通じて、その実態を把握するとともに、短期派遣を取り扱う派遣元事業主の事業運営状況等について把握すること。

2 調査対象

(1) 派遣元事業主 12社

※ 東京、大阪労働局管内において、日雇派遣等の短期派遣を取り扱っていると考えられる派遣元事業主のうち、調査協力に応じる見込みが高い事業主

(2) 派遣労働者 1,715名

※ (1)の派遣元事業主より、給与の支払い時等に労働者に調査票を手交し、派遣元事業主を通じて回収

3 調査期間

平成19年6月中旬～7月末

4 回答数

(1) 派遣元事業主 10社（回収率83.3%）

(2) 日雇い派遣で働く労働者 1,034名（回収率60.3%）

（このうち、短期派遣労働者698名分の調査票を集計）

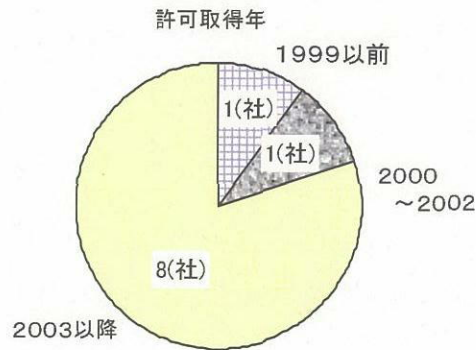
[調査結果]

I 短期派遣を取り扱う派遣元事業主調査

1 派遣元事業主の各種属性

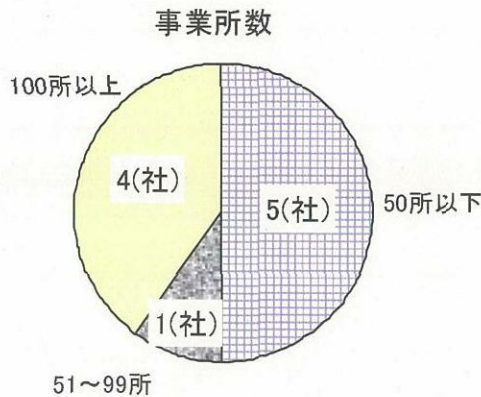
(1) 許可取得年

派遣元事業主の許可取得年をみると、法改正の行われた平成 2003 年以降に許可を取得した事業主が 8 社と最も多くなっている。



(2) 事業所数

事業所数については、平均すると 171.2 所であったが、分布をみると、50 所以下が 5 社、51~99 所が 1 社、100 所以上が 4 社と、多数の事業所を持つ事業主とそうでない事業主に二分されている傾向が確認される。



(3) 登録者全数及び 1 日当たりの平均派遣労働者数

登録者全数は、10 社合計で 500 万人弱となるものの、分布をみると、10 万人を超える社が 5 社となっている。1 日当たりの派遣労働者数でも同様に、10 社合計で約 6 万 5 千人であり、平均すると約 6,500 人であるが、分布をみると 5,001 人以上が 4 社である一方で、300 人以下が 3 社となっている。

また、1 日当たりの平均派遣労働者数のうち、8 割弱が 1 日単位の雇用契約で働

く労働者（日雇派遣労働者）であることがわかる。

登録者全数		
5,000人以下	1	社
(うち、短期派遣)	3	社
5,001～10,000人	2	社
(うち、短期派遣)	0	社
10,001～50,000人	1	社
(うち、短期派遣)	1	社
50,001～100,000人	2	社
(うち、短期派遣)	1	社
100,001人以上	5	社
(うち、短期派遣)	5	社
(10社平均)	499,610	人
(うち、短期派遣)	346,367	人

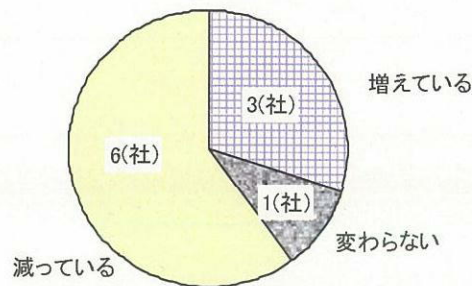
1日当たりの平均派遣労働者数

	300人以下	301～1,000人	1,001～5,000人	5,001人以上	10社合計
派遣労働者数	3社	1社	2社	4社	64,551人
短期派遣労働者	4社	1社	3社	2社	53,465人
日雇派遣労働者	4社	1社	3社	2社	50,960人

(4) 短期派遣を主とする新規登録者数

短期派遣を主とする新規登録者数については、1年前に比べて、「増えている」は3社、「減っている」が6社となっている。

1年前に比べた短期派遣を主とする新規登録者数

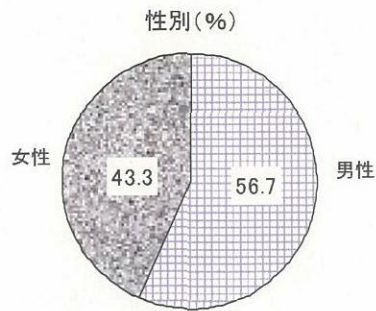


2 短期派遣労働者の主な属性について（事業主調査）

(※ 調査対象事業主に登録している短期派遣労働者について、登録者数、男女比・年齢構成比・職業比の回答を用いて実数を算出し、回答のあった10社分を合計し割合を算出)

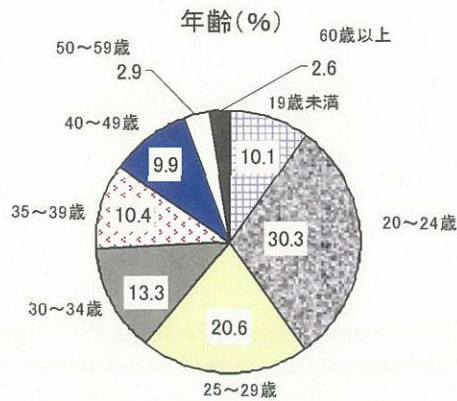
(1) 性別

性別については、男性が56.7%、女性が43.3%となっている。



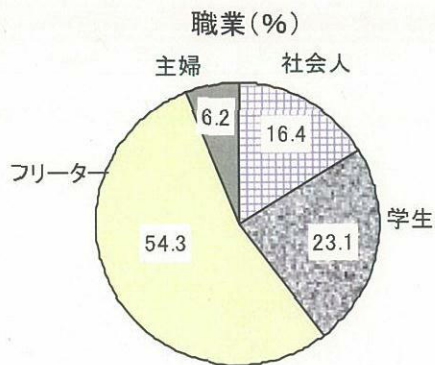
(2) 年齢構成

年齢構成については、7割超が34歳以下の若年層となっている。



(3) 職業

職業については、フリーター（短期派遣のみ、または他のパート・アルバイト等で生計を立てている者）が54.3%と最も多く、次いで学生が23.1%、社会人（他に定職がある者）が16.4%、主婦が6.2%となっている。



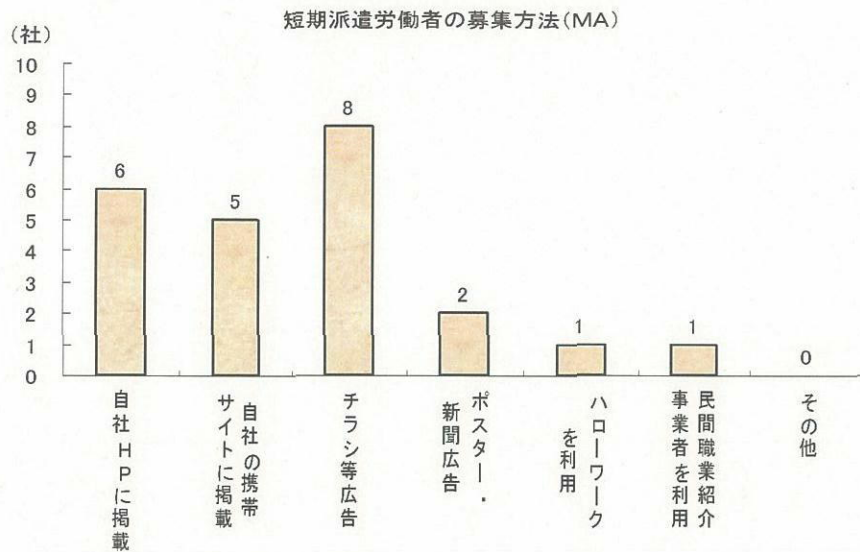
3 短期派遣労働者一人一月当たりの平均就業日数

短期派遣労働者の一人一月当たりの平均就業日数については、**8.9日**であった。

4 短期派遣労働者の登録から紹介までの流れ

(1) 派遣労働者の募集方法

派遣労働者を募集する方法については、「チラシ等広告」が8社と最も多く、次いで「自社HPに掲載」が6社、「自社携帯サイトに掲載」が5社、「ポスター・新聞広告」が2社、「ハローワークを利用」及び「民間職業紹介事業者を利用」が1社となっている。

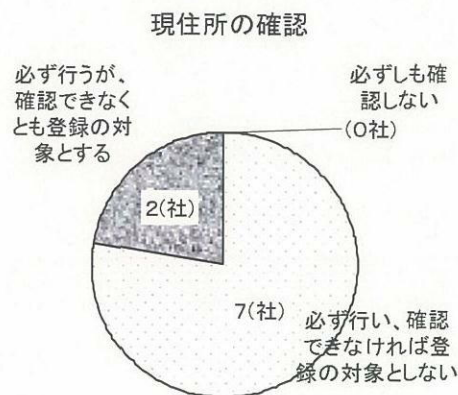


(2) 短期派遣労働者の登録方法 (自由回答)

派遣労働者の登録方法については、回答のあったほぼ全ての事業主において、応募者に対し説明会を開いた上で登録するという方法であった。

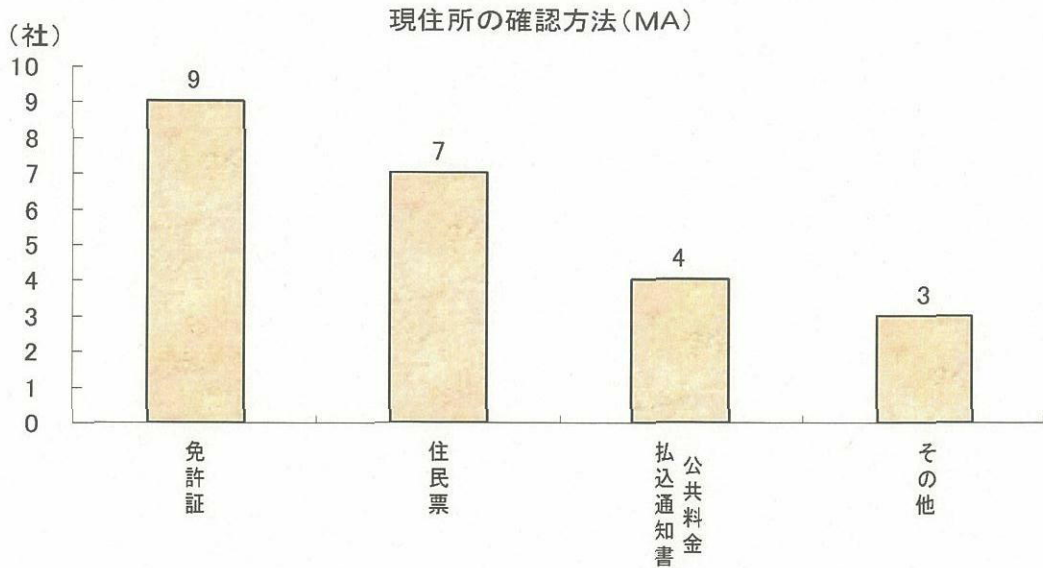
(3) 登録時の現住所の確認

短期派遣労働者の登録時に現住所の確認を行うかどうかについては、「必ず行き、確認できない場合は登録の対象としない」が7社、「必ず行うが、確認できなくとも登録の対象とする」が2社となっており、「必ずしも確認しない」との回答はなかった。



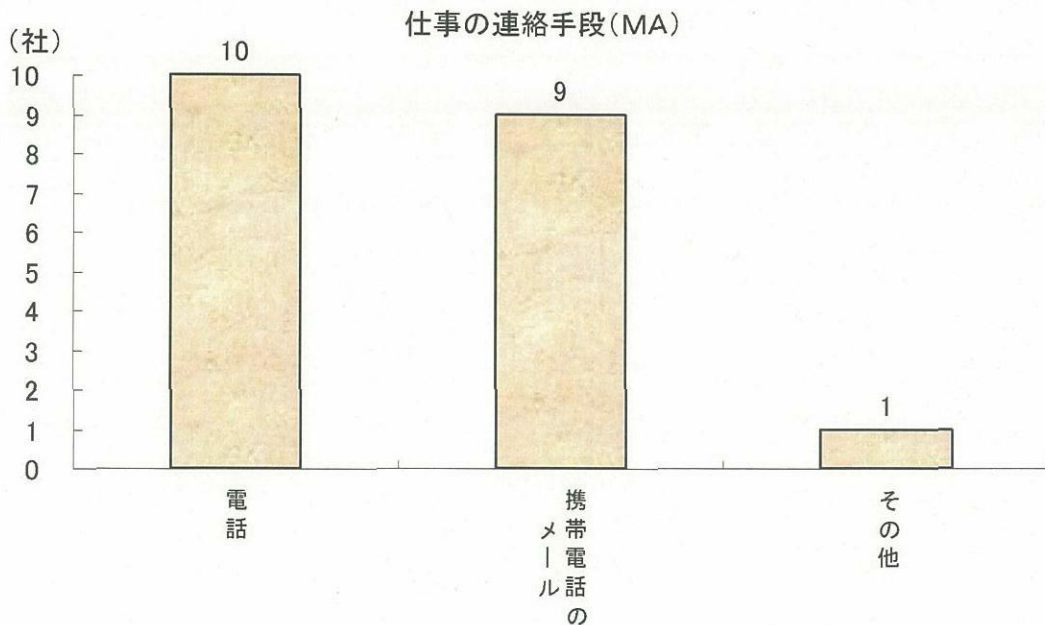
(4) 現住所の確認方法

現住所の確認方法については、「免許証」が9社で最も多く、次いで「住民票」が7社、「公共料金払込通知書」が4社となっている。なお、「その他」では、「健康保険証」、「パスポート」などが見られた。



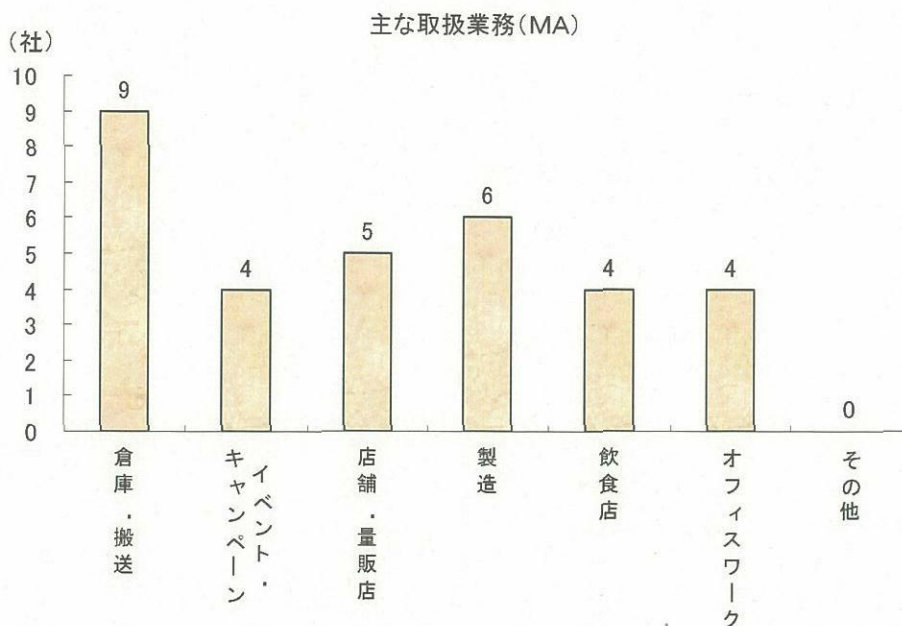
(5) 短期派遣労働者への仕事の連絡方法

短期派遣労働者への仕事の連絡方法については、10社全てで「電話」、9社で「携帯電話のメール」が利用されている。なお、「その他」では、「出勤した日に伝える」との回答がみられた。



5 主な取扱い業務

主な取扱い業務については、「倉庫・搬送」が9社と最も多く、次いで、「製造」が6社、「店舗・量販店」が5社、「イベント・キャンペーン」、「飲食店」及び「オフィスワーク」が4社となっている。



6 1日単位の仕事の充足率

1日単位の仕事については、10社で平均して77.4%の充足率となっている。

7 短期派遣労働者に対する給与の支払い方法

(1) 給与の支払い方法

9割以上の労働者に対し「手渡し」との回答が6社であり、「銀行等振込」の対象である労働者は多い事業主で35%となっている。

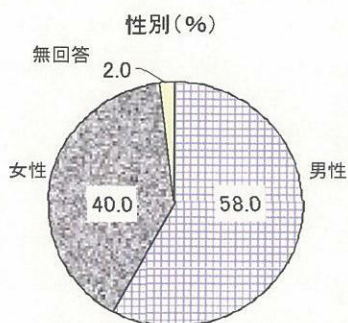
(2) 支払いに当たっての単位

支払いに当たっては、7割以上の労働者に対し「日単位」で支払うとの回答が3社であるが、8割以上の労働者に対して「週単位」で支払うとする事業主も1社見られる。

II 短期派遣で働く労働者調査

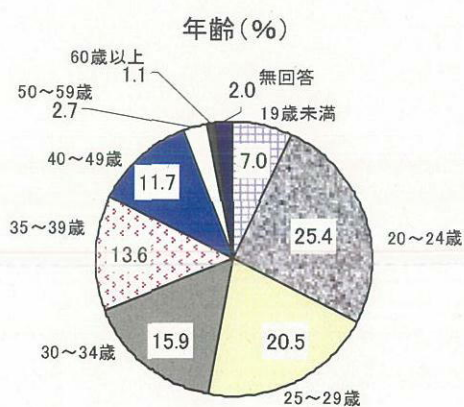
1 性別

性別については、男性が 58.0%、女性が 40.0%となっている。



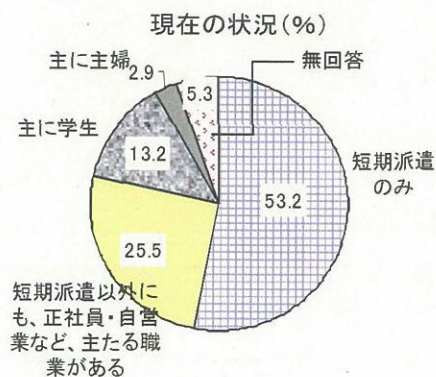
2 年齢構成

年齢構成については、19歳未満が 7.0%、20～24歳が 25.4%、25～29歳が 20.5%、30～34歳が 15.9%と、7割弱が 34歳以下の若年層となっている。



3 現在の状況について

現在の状況については、「主に仕事をしている（短期派遣のみ）」が 53.2%と最も多く、「主に仕事をしている（短期派遣以外にも、正社員・自営業など、主たる職業がある）」が 25.5%、「主に学生」が 13.2%、「主に主婦」が 2.9%となっている。



4 一月当たりの平均就業日数及び平均月収について

短期派遣労働者の一月当たりの平均就業日数については、**14.0日**となっている。また、ここ3ヶ月の平均月収を見ると、**13.3万円**となっている。

これを、さらに性別・現在の状況・下記5の雇用形態との関連で見ると、短期派遣のみの者の平均就業日数は、男性で19.1日、女性で18.1日、平均月収は男性で15.0万円、女性で13.2万円となっている。また、短期派遣のみでありかつ雇用契約が1日単位である者の平均就業日数は、男性で18.6日、女性で17.3日、平均月収は男性で15.1万円、女性で13.1万円となっている。

(日)

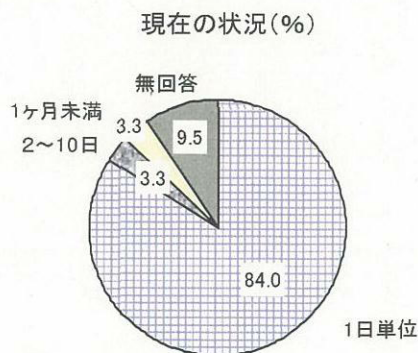
平均就業日数		1日単位	2～10日以内	1ヶ月未満	合計
男性	主に仕事をしている(短期派遣のみ)	18.6	16.6	19.9	19.1
	主に仕事をしている(他に主たる職業がある)	11.3	12.6	15.5	12.3
	主に学生	5.6	-	12.5	6.0
	主に主婦	-	-	-	-
	合計	14.7	14.2	18.3	15.9
女性	主に仕事をしている(短期派遣のみ)	17.3	14.7	18.3	18.1
	主に仕事をしている(他に主たる職業がある)	8.2	12.0	24.0	10.9
	主に学生	5.0	-	2.0	5.8
	主に主婦	9.0	9.0	-	9.7
	合計	12.6	12.6	17.0	14.6

(万円)

平均月収		1日単位	2～10日以内	1ヶ月未満	合計
男性	主に仕事をしている(短期派遣のみ)	15.1	14.2	12.9	15.0
	主に仕事をしている(他に主たる職業がある)	17.2	18.2	16.0	17.2
	主に学生	4.9	-	10.0	5.0
	主に主婦	-	-	-	-
	合計	14.2	16.4	13.2	14.2
女性	主に仕事をしている(短期派遣のみ)	13.1	15.0	16.7	13.2
	主に仕事をしている(他に主たる職業がある)	14.1	11.0	16.0	14.1
	主に学生	3.3	6.0	1.0	3.2
	主に主婦	6.5	5.0	-	6.3
	合計	11.7	10.4	13.4	11.7

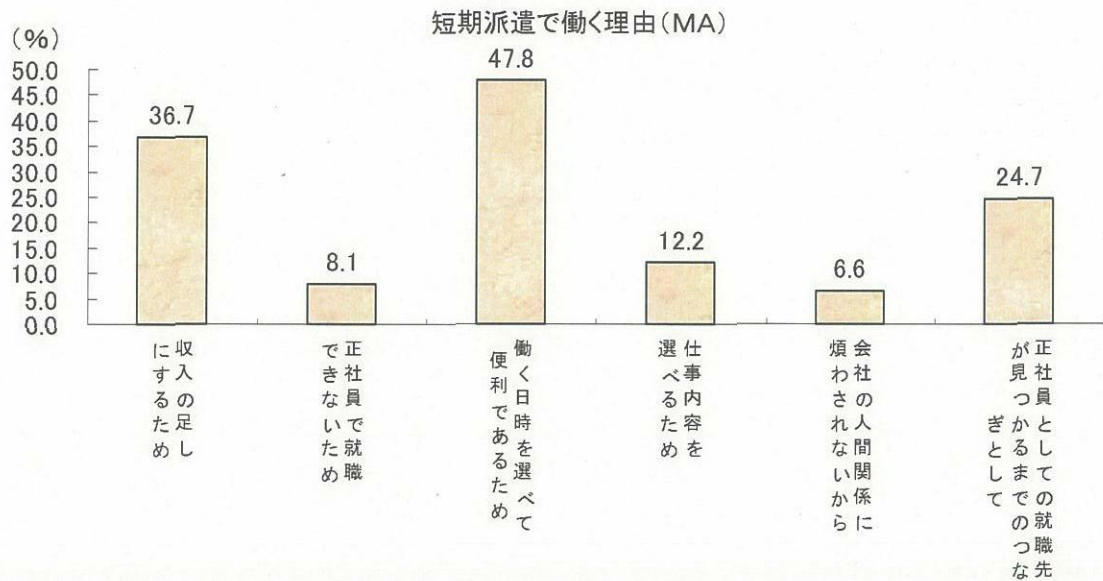
5 短期派遣労働時の雇用形態

短期派遣労働者の派遣労働時の雇用形態については、「有期雇用(1日単位)」である日雇派遣労働者が84.0%と最も多く、「有期雇用(2～10日)」と「有期雇用(1ヶ月未満)」はそれぞれ3.3%であった。



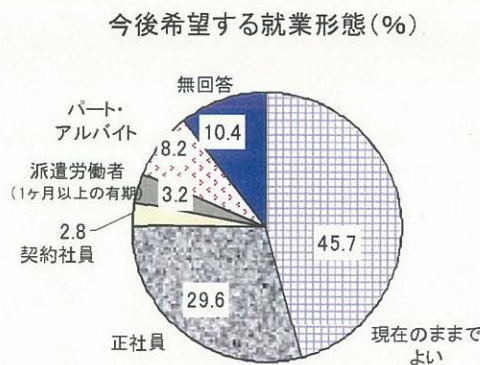
6 短期派遣で働く理由

短期派遣労働者として働くことを選んだ理由については、「働く日時を選べて便利であるため」が 47.8%で最も多く、次いで「収入の足しにするため」が 36.7%、「正社員としての就職先が見つかるまでのつなぎとして」が 24.7%、「働きたい仕事内容を選べるため」が 12.2%、「正社員で就職できないため」が 8.1%、「会社の人間関係に煩わされないから」が 6.6%となっている。



7 今後の希望する就業形態

今後、どのような雇用形態で働きたいかについては、「現在のままでよい」が 45.7%と最も多く、次いで「正社員」が 29.6%、「パート・アルバイト」が 8.2%、「派遣労働者(1ヶ月以上の有期)」が 3.2%、「契約社員」が 2.8%となっている。



なお、これを年齢及び性別毎にみると、「現在のままでよい」との回答は男性よりも女性に多く(47.7%<56.9%)、また、「正社員」を希望する割合については男性の25~29歳(53.6%)、30~34歳(58.0%)、35~39歳(45.8%)において「現在のままでよい」よりも高くなっている。一方、女性ではどの年齢層でも、「正社員」を希望

する割合は「現在のままでよい」の割合よりも低くなっている。

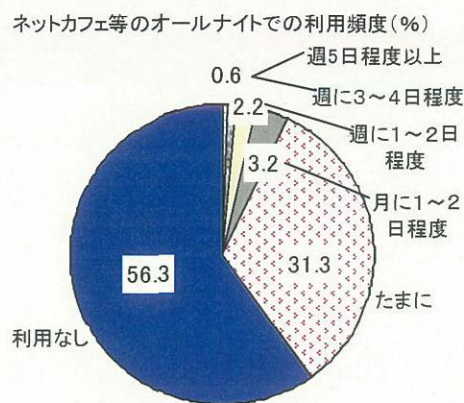
	男性									女性								
	19歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	19歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
現在のままでよい	90.5	54.3	34.8	37.7	39.6	56.8	55.6	60.0	47.7	57.1	56.3	62.7	33.3	66.7	57.9	57.1	100.0	56.9
正社員	4.8	32.1	53.6	58.0	45.8	34.1	33.3	0.0	41.6	9.5	28.1	15.7	25.9	11.1	15.8	14.3	0.0	19.3
契約社員	0.0	0.0	4.3	1.4	6.3	2.3	11.1	0.0	2.6	4.8	1.6	3.9	14.8	0.0	5.3	0.0	0.0	4.1
派遣労働者(1ヶ月以上の有期)	0.0	1.2	2.9	1.4	2.1	4.5	0.0	0.0	2.0	4.8	1.6	7.8	7.4	7.4	5.3	14.3	0.0	5.5
パート・アルバイト	4.8	12.3	4.3	1.4	6.3	2.3	0.0	40.0	6.1	23.8	12.5	9.8	18.5	14.8	15.8	14.3	0.0	14.2
合計	6.1	23.4	19.9	19.9	13.9	12.7	2.6	1.4	100	9.6	29.4	23.4	12.4	12.4	8.7	3.2	0.9	100

また、短期派遣で働く理由が「正社員で就職できないため」又は「正社員としての就職先が見つかるまでのつなぎとして」の場合、男性は今後の希望として「正社員」を希望する者が多い(69.7%、81.6%)。一方で、女性は男性に比べ「正社員」を希望する者が少なく(16.7%、59.5%)、また、「正社員で就職できないため」である場合には「現在のままでよい」とする者が41.7%みられる。

	男性						女性					
	現在のままでよい	正社員	契約社員	派遣労働者(1ヶ月以上の有期)	パート・アルバイト	合計	現在のままでよい	正社員	契約社員	派遣労働者(1ヶ月以上の有期)	パート・アルバイト	合計
収入の足らざるため	66.6	23.4	3.1	1.6	6.3	100	67.7	15.1	3.2	4.3	9.7	100
正社員で働きなすめ	21.2	69.7	0.0	3.0	6.1	100	41.7	16.7	25.0	8.3	8.3	100
働く日数を減らして楽になるため	56.2	29.5	2.1	3.4	8.9	100	64.6	11.5	5.4	6.9	11.5	100
働ける仕事内容を探るため	55.8	30.2	2.3	2.3	9.3	100	52.0	24.0	8.0	4.0	12.0	100
会社の人間関係が自分から	40.0	40.0	10.0	5.0	5.0	100	42.9	21.4	14.3	7.1	14.3	100
正社員としての就職先が見つかるまでのつなぎとして	13.6	81.6	1.9	1.9	1.0	100	18.9	59.5	8.1	5.4	8.1	100
合計	46.3	42.5	2.5	2.5	6.1	100	57.2	19.9	6.4	5.8	10.6	100

8 インターネットカフェ・マンガ喫茶などのオールナイトでの利用頻度

インターネットカフェやマンガ喫茶などをオールナイトで利用する頻度については、「利用したことがない」が56.3%で最も多く、次いで「たまに」が31.3%であり、インターネットカフェ等を定期的にオールナイトで利用する者はほとんどみられなかった。

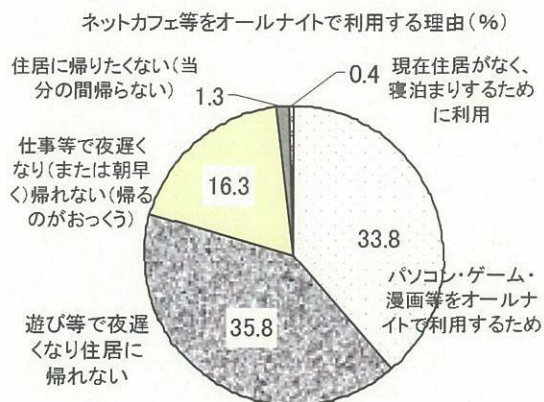


9 インターネットカフェ・マンガ喫茶などをオールナイトで利用する理由

インターネットカフェ・マンガ喫茶などをオールナイトで利用することがある者のうち、その理由については、「遊び等で夜遅くなり「住居」(普段帰る自宅やアパート、

会社の寮、住み込み先など、日常的に利用する場所をいい、遠い実家は含まない。以下同じ。)に帰れない」が 35.8%と最も多く、次いで「パソコン・ゲーム・漫画等をオールナイトで利用するため」が 33.8%、「仕事等で夜遅くなり(または朝早く)住居に帰れない(帰るのがおっくう)ため」が 16.3%となっている。

なお、いわゆるネットカフェ難民に当たると考えられる「住居に帰りたくないため(当分の間帰らない)」及び「現在住居がなく、寝泊まりするために利用」している者も、合わせて 1.7%みられた。



- 10 アンケートにおいては、9で「住居に帰りたくないため(当分の間帰らない)」及び「現在住居がなく、寝泊まりするために利用」している者について、その期間や理由等について尋ねる項目を設けていたが、該当するサンプルが少なかつたため、集計は行わなかった。

日雇い派遣労働者の実態調査のためのアンケート（企業用）

【お願い】

このアンケートは、厚生労働省職業安定局において、日雇いの派遣労働者として働く人々の実態を調査する目的で行われるものです。この調査結果は統計以外の目的に使用したり、企業にかかる秘密を他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままをご記入いただきますようお願いいたします。

【記入方法】

（ ）内については、数字や文章を記入してください。

選択式の項目については、該当する選択肢の番号を○で囲んでください。

なお、特に断りのない場合は、1つだけを選んでください。

また、実数が不明の場合は、概数での記入で結構です。

【調査項目】

I 各種属性

I-①	労働者派遣事業許可取得年(西暦)	(年)
I-②	事業所数	(所)
I-③	登録者全数	(名)
I-④	(うち、日雇い派遣を主としている者の数)	(名)
I-⑤	日雇い派遣を主とする新規の登録者は、1年前に比べて (1. 増えている 2. 変わらない 3. 減っている)	
I-⑥	1日あたりの平均派遣労働者数	(名)
I-⑦	(うち、 <u>1日単位</u> の有期雇用者)	(名)
I-⑧	(うち、 <u>2日～10日単位</u> の有期雇用者)	(名)
I-⑨	(うち、 <u>1月未満</u> の有期雇用者)	(名)

※ I-③、④、⑥～⑨については、概数で構いません。

II 日雇い派遣労働者の主な属性について

II-① 性別 (男性 % 女性 %)

II-② 年齢

19歳未満	<input type="text"/> <input type="text"/> %	20～24歳	<input type="text"/> <input type="text"/> %	25～29歳	<input type="text"/> <input type="text"/> %
30～34歳	<input type="text"/> <input type="text"/> %	35～39歳	<input type="text"/> <input type="text"/> %	40～49歳	<input type="text"/> <input type="text"/> %
50～59歳	<input type="text"/> <input type="text"/> %	60歳以上	<input type="text"/> <input type="text"/> %		

II-③ 職業

1. 社会人	<input type="text"/> <input type="text"/> %	2. 学生	<input type="text"/> <input type="text"/> %
3. フリーター	<input type="text"/> <input type="text"/> %	4. 主婦	<input type="text"/> <input type="text"/> %

※「社会人」は他に定職がある者。「フリーター」は日雇い派遣のみ、又は他のパート・アルバイト等で生計を立てている者

III 派遣労働者一人一月あたりの平均就業日数 () 日

IV 登録から紹介までの流れ

IV-① 派遣労働者の募集方法 (複数回答可)

1. 自社HPに掲載	2. 自社の携帯サイトに掲載
3. チラシ等広告	4. ポスター・新聞広告
5. ハローワークを利用	6. 民間職業紹介事業者を利用
7. その他 ()	

IV-② 派遣労働者の登録方法

例：Web で応募した者に対し、説明会への出席を求め、登録する。

IV-③ 派遣労働者の登録時に、現住所の確認を行っていますか。

1. 必ず行い、確認できない場合は登録の対象としない
2. 必ず行うが、確認できなくとも登録の対象とする
3. 必ずしも確認しない

IV-④ ③で確認を行っている場合、確認に使うもの（複数回答可）

1. 免許証
2. 住民票
3. 公共料金払込通知書
4. その他（ ）

IV-⑤ 派遣労働者への仕事の連絡方法（複数回答可）

1. 電話
2. 携帯電話のメール
3. その他（ ）

V 主な取扱い業務（複数回答可）

1. 倉庫・搬送
2. イベント・キャンペーン
3. 店舗・量販店
4. 製造
5. 飲食店
6. オフィスワーク
7. その他（ ）

VI 1日単位の仕事の充足率

約 %

VII 日雇い派遣労働者に対する給与の支払い方法

VII-① 給与の支払い方法

1. 労働者に手渡し 約 %
2. 銀行等振込 約 %
3. その他（ ）

VII-② 支払いにあたっての単位

1. 日単位 約 %
2. 週単位 約 %
3. 月単位 約 %

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

日雇い派遣労働者の実態調査のためのアンケート

【お願い】

このアンケートは、日雇いの派遣労働者として働く方々の実態を調査するために、厚生労働省職業安定局需給調整事業課において、派遣元事業主に協力を求めることで実施するものです。この調査結果は統計的に処理するのみで、個人にかかる秘密を他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままをご記入いただきますようお願いいたします。

【記入方法】

それぞれの項目について、該当する選択肢の番号を○で囲んでください。
() 内については、数字や文章を記入してください。
なお、特に断りのない場合は、1つだけを選んでください。

<本調査にかかる問い合わせ先>

厚生労働省職業安定局

需給調整事業課 寺岡 工藤

TEL 03-5253-1111 (内線 5747)

① 性別 (1. 男性 2. 女性)
② 年齢 (1. 19歳未満 2. 20~24歳 3. 25~29歳 4. 30~34歳 5. 35~39歳 6. 40~49歳 7. 50~59歳 8. 60歳以上)
③ 現在の状況について (1. 主に仕事をしている (日雇い派遣のみ) 2. 主に仕事をしている (日雇い派遣以外にも、正社員・自営業など、主たる職業がある) 3. 主に学生 4. 主に主婦)
④ 派遣労働における一月あたりの平均就業日数 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
⑤ 派遣労働時の雇用形態 (1. 有期雇用 (1日単位) 2. 有期雇用 (2日~10日以内) 3. 有期雇用 (1ヶ月未満) 4. 有期雇用 (1ヶ月以上) 5. 期間の定めのない雇用)

※ 以下、⑤で「1」～「3」とお答えいただいた方を対象とした調査になります。「4」または「5」とお答えいただいた方については、調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは裏面に続きます

